



田紀雲國務院副総理と会談し、龍頭橋ダムPJの円借款案件編入を提案

1991年7月 人民大会堂に於いて

◆1991年 8月

黒龍江省政府が中国国家計画委員会に“龍頭橋ダム建設プロジェクト建議書”を提出

◆1992年10月

“龍頭橋ダム建設プロジェクト建議書”が「黒龍江省円借款利用龍頭橋ダム建設項目」の名称で国家計画委員会の正式批准を得る

◆1993年 2月

「黒龍江省水利考察団」を招聘

「黒龍江省円借款利用龍頭橋ダム建設項目」に対する第四次円借款供与の可能性について日本政府関係機関等と協議。併せて、同プロジェクトの補充調査に係わり、日本政府の無償技術協力を要請。

◆1993年 3月

黒龍江省政府が中国國務院関係各部に対し「黒龍江省円借款利用龍頭橋ダム建設項目」を第四次円借款案件に編入するよう改めて要請

同時に、黒龍江省政府が在中国日本大使館を通じ「龍頭橋プロジェクト準備段階無償援助願書」を提出

◆1994年 2月

第四次円借款供与希望リスト（計71件）が中国側から提示される
龍頭橋ダム建設プロジェクトが「黒龍江省三江平原商品穀物基
地建設及び龍頭橋ダム建設項目」として中国側提示リストに載る。

◆1994年 9月

「龍頭橋プロジェクト準備段階無償援助願書」に基づく技術専
門家の派遣並びに関連調査器材等の供与が決定

◆1994年12月

日中両国高級事務レベル協議において、龍頭橋ダム建設プロジェ
クトを含む第四次円借款前三年分計40案件（総額5,800億円）の
供与が決定

◆1995年 8月

黒龍江省人民对外友好協会との第11回定期会議開催



王耀臣副会長（右二）と会談する
高橋傳一郎新潟県日中会長（中央）

◆1996年12月

中国のCTBT（包括的核実験禁止条約）加盟を受けて日本政府の
対中政府開発援助実務協議が再開され、1996年度供与案件として
「黒龍江省三江平原龍頭橋ダム建設事業計画」が決定
供与限度額は30億円

◆1998年 6月

“新潟～哈爾濱”定期航空路開設

◆1998年 8月

嫩江・松花江流域に150年に一度の大洪水が発生し、850万人が被災
義捐金を募り、140余万円を黒龍江省人民政府に寄託。



◆2000年 6月

「中日友好協会代表団」（団長：宋健会長）を招聘
両協会間の協力関係強化について協議。



ERINAを訪問し、函門江開発構想について意見交換する宋健中日友好協会会長（右三）

◆2000年10月

黒龍江省青少年発展基金会在実施している“希望工程”（貧困が原因して就学し得ない児童生徒に対する就学援助等のプロジェクト）の主旨に賛同し、同基金に対し30万円を寄金

◆2001年 2月

「新潟大学農学部代表団」を派遣

新潟大学農学部と東北農業大学（哈爾濱市）との学术交流協定締結について協議。

◆2001年 8月

「東北農業大学訪日団」を招聘

新潟大学農学部と東北農業大学が学术交流協定を締結。

◆2002年 7月

「“希望工程”現地研修団」を派遣

大慶市杜爾伯特蒙古族自治県及び林甸県を訪問し、現地の教育条件整備状況等を実地に研修。



杜爾伯特蒙古族自治県白音諾勒村小学校



白音諾勒村小学校の教室（雨漏りが激しい）



永合小学校の教室（梁を支柱で支えている）



林甸県四合郷永合小学校

特定非営利活動法人

1979 Established

新潟県日中友好協会

◆2002年10月

「三江平原龍頭橋ダム竣工慶祝団」を派遣

同ダムの竣工確認のため現地を訪問。併せて、竣工を慶祝。



堤体基礎工事



撮影：2001年9月



完成間近いダム全景 撮影：2001年9月



供用を開始した龍頭橋ダム全景



左：発電用トンネル 右：灌漑用トンネル



建設中の頭首工



下流域の水路

特定非営利活動法人

1979 Established

新潟県日中友好協会

◆2002年11月

「黒龍江省外事弁公室訪日団」（団長：劉忠原主任）を招聘
“嫩江流域生態モデル林建設計画”への協力を要請される。

◆2003年12月

大慶市杜爾伯特蒙古族自治県白音諾勒郷“白音諾勒村小学校
教育条件改善協力事業”打合せミッション・“黒龍江省嫩江流域
荒漠化地区生態林建設協力事業”実行可能性調査コンタクトミッ
ションを派遣



劉国録白音諾勒村小学校
校長（左一）との協議



白音諾勒村小学校での協議



白音諾勒村小学校周辺の集落



黒龍江省林業庁との協議



防護林研究所新江実験林場の
樟子松林



防護林研究所（齊齊哈爾）
での協議

特定非営利活動法人

1979 Established 新潟県日中友好協会